

令和7年12月23日

福知山市議会議長 吉見 茂久 様

総務防災委員会委員長 片山 正紀

委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

記

1 委員会付託議案

- ・議第72号 福知山市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議第73号 福知山市長、副市長、教育長及び上下水道事業管理者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議第74号 福知山市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議第75号 福知山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議第76号 福知山市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議第77号 福知山市病院事業管理者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議第84号 公の施設に係る指定管理者の指定について

2 審査の概要

12月15日に委員会を開催し、市長公室、市民生活部及び消防本部から議案について詳細な説明を受け、議案審査を行いましたので、主な概要について報告します。

初めに、議第72号について、「病院職員の定数を増やす方向での条例改正であるが、雇用情勢はなかなか厳しいと聞く中で、本当に職員を確保できるのか」を問う質疑があり、「医師の人事は京都府立医科大学の医局人事になるので難しいところはあるが、院長をトップに当院の置かれている状況や拠点病院としての役割も踏まえて説明をさせていただき、最近では100人を超える医師数となっている。今後も引き続き職員の人材確保に努めていきたいと考えている」との答弁がありました。

次に、議第73号について、「人事院勧告に則ってという説明であるが、人事院勧告は基本的に市職員に労働基本権の制約があるため定められた制度である。それを特別職に当てはめるのは適切ではないと考えるが、見解は」を問う質疑があり、「特別職も常勤職員として勤務している面もあり、府内14市の状況も踏まえ条例改正を行うものである」との答弁がありました。

次に、議第76号について、「林野火災は世界中で増えていることは承知しているが、火災予防条例の改正に至った主な要因」を問う質疑があり、「条例改正の発端となったの

は岩手県大船渡市の大規模林野火災であり、同様の林野火災の発生を防止するために条例改正に至った」との答弁がありました。

次に、議第 7 7 号について、「病院事業会計の財政が厳しい中での、条例改正に伴う財源の見通し」を問う質疑があり、「医療職を確保していくことは、診療報酬にも関わってくることであり、当面は現在の医療体制を堅持していくことが、地域の医療のためと考えており、財源の問題はあるが経費抑制を図りながら対応していきたい」との答弁がありました。

次に、議第 8 4 号について、「これまで福知山市が 1 0 0 パーセント出資している都市緑化協会が指定管理者になっていたが、三段池再生創造共同事業体という民間の共同事業体が指定管理者になるわけであるが、そのことによるデメリットをどのように捉えているか」を問う質疑があり、「直近過去 5 年について、三段池公園のスポーツ施設については、スポーツ協会と都市緑化協会の共同事業体が管理していた経過から、今回の指定管理者の指定についても共同事業体という点においてデメリットはないと考えている。今回の指定管理者となる共同事業体に都市緑化協会は入っていないので、両者の円滑な事務引き継ぎを進めていきたいと考えている」との答弁がありました。

なお、議第 7 4 号、議第 7 5 号についての質疑はありませんでした。

反対討論

・議第 7 3 号について反対する。物価高が長期化し市民生活が厳しさを増す中、市民の理解を得難い。本定例会に上程されている条例改正において、市民にはバス運賃を 2 0 0 円から 2 5 0 円に引き上げるなど負担をお願いする一方で、市長をはじめ特別職が上げるという姿勢はなおさら受け入れられない。また、人事院勧告は本来、労働基本権に制約があり労使交渉ができない一般公務員に対する代替措置として設けられた制度であり、これを根拠とするのは適切ではない。今優先すべきは政治側が襟を正し、行財政改革を徹底して推し進め、少しでも市民生活の改善につなげることである。

・議第 7 3 号について反対する。不適正事務やフクレルの件、またバス運賃などの市民負担増の中で、理事者の期末手当を上げることは賛同し難いと判断し反対する。

賛成討論

なし

3 審査結果

- ・議第 7 2 号 全員賛成で原案可決
- ・議第 7 3 号 賛成多数で原案可決
- ・議第 7 4 号 全員賛成で原案可決
- ・議第 7 5 号 全員賛成で原案可決
- ・議第 7 6 号 全員賛成で原案可決
- ・議第 7 7 号 全員賛成で原案可決
- ・議第 8 4 号 全員賛成で原案可決